

発議案第3号

北朝鮮による核実験に対し断固抗議する決議について

北朝鮮による核実験に対しに断固抗議する決議を別紙のとおり行う。

平成29年9月5日

提出者	上越市議会議員	宮崎政國
賛成者	同	近藤彰治
	同	江口修一
	同	波多野一夫
	同	上野公悦
	同	山田忠晴

北朝鮮による核実験に対し断固抗議する決議

去る9月3日、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は、国際社会の度重なる制裁にもかかわらず、爆発規模が広島、長崎を上回り過去最大となる通算6回目の核実験を実施した。また、大陸間弾道ミサイル（ICBM）搭載用の水素爆弾の実験に成功したと発表した。

北朝鮮は今年にはいり、日本の上空を通過する弾道ミサイルを発射するなど国連決議に違反する度重なる暴挙は、我が国を始め、アジア・太平洋地域の平和と安全を脅かすものであり、国際社会全体に極めて深刻な危機を及ぼし、重大な不安を与える行為は断じて許すことはできない。

よって、世界の人々との友好をさらに強め、すべての国のあらゆる核兵器が速やかに廃絶され、一日も早い恒久平和が確立されることを強く願い「非核平和友好都市宣言」を議決した議会として、北朝鮮が一切の核実験及び核開発を中止し、直ちにすべての核兵器及び核計画を放棄することを強く求めるとともに断固抗議する。

また、日本政府においては、我が国の平和と安全の確保、国民の安全安心に万全を期し、引き続き国際社会と連携・協力のもと、北朝鮮に対して核兵器の完全放棄、弾道ミサイル開発の中止、拉致問題の早期解決を求めるなど、毅然とした措置を講じるよう強く要望する。

上記決議する。

平成29年9月5日

上 越 市 議 会